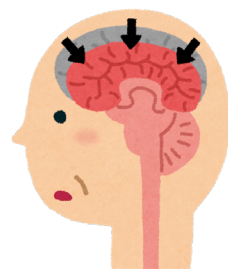


# 高次脳機能障害ってご存じですか？

リハビリテーション科 医長 野邊 浩一郎

脳は運動機能だけでなく、思考・感情・記憶など人間の活動に関するあらゆるものをコントロールしています。事故や病気などが原因で脳が損傷されることで、話す・考える・覚える・集中することが難しくなり、生活に支障をきたす状態を“**高次脳機能障害**”といいます。

高次脳機能障害の原因として脳卒中（脳血管障害）・脳外傷（頭部外傷）・脳炎・低酸素脳症・脳腫瘍などが挙げられますが、上記の疾患で起こりやすい身体の麻痺などと異なって、外見上は症状がないため、周囲が気づきにくく、本人も症状に気づかないことがあります。また、症状は脳損傷の部位や損傷の程度によってさまざま、回復の程度も一人ひとり異なります。



## 高次脳機能障害によくある症状

### 1 記憶障害

新しい物事を覚えたり、発症前後の記憶を覚えることが難しくなる。

### 2 注意障害

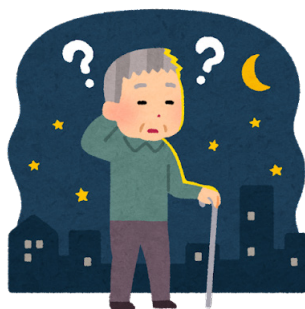
集中する、複数のことに同時に注意を向ける、物事を切り替えること難しくなる。

### 3 行動と感情の障害

行動や感情をコントロールすることができず、社会生活やコミュニケーションに問題が生じる。

### 4 遂行機能障害

状況に応じて行動を計画し、実行することが難しくなる。



### 5 失認症

目・耳・手などの感覚に障害がないのに、知っているものを見る・聞く・触るなどしても、それが何であるか分からない。

### 6 半側空間無視

視力に問題がないのに、目の前の空間の半分（多くは左側）に気づきにくい。



### 7 失行症

頭では分かっているのに、簡単な動作や使い慣れた道具がうまく使えない。

### 8 失語症

聞く、話す、読む、書くことが難しくなる。



けがや病気は治っても、高次脳機能障害により今までと同じような生活ができずに困っている方は少なくありません。現在、障害を持っている方やそのご家族様を支援するために、東京都心身障害者福祉センターが中心となってさまざまな活動を行っています。お困りの方は、東京都心身障害者福祉センターや各地方自治体の窓口にご相談いただくことが、地域サポートにつながっていく重要な一歩と考えます。